

グローバル人材育成プログラム 活動報告書

田中 駿佑

Shunsuke TANAKA

機械工学・ロボティクス課程 4年

1. 目的

このプログラムに参加した目的は三つある。

一つ目は、「異なる文化・環境での経験と人間力の向上」である。ホームステイや企業実習を通して達成することを目的とした。

二つ目は、「グローバルな視野を身に付ける」である。「異なる文化・環境での経験と人間力の向上」と同じく、ホームステイや企業実習を通して達成することを目的とした。

三つ目は、「殻を破る」である。この留学プログラム全体を通じて、自分の限界に挑戦し、新たな可能性を探ることを目的とした。

2. シリコンバレー企業見学

シリコンバレー企業見学では、Intel や Google, Meta, Oracle の訪問、見学を行った。訪れた企業のほとんどが自由な雰囲気でのオフィスで、そこで働く環境が非常に印象的だった。このような自由な空間から独創的なアイデアが生まれるのではないかと感じた。

3. グローバルキャリアセミナー

グローバルキャリアセミナーでは、アメリカで AI 研究や起業、ビジネス展開をされている井坂暁博士と Nippon Trend Food の社長である山下英幸さんからお話を伺った。お話を伺ったなかで、印象に残ったことは三つある。

一つ目は、起業成功はアイデアではなくその過程が重要であるということである。

二つ目は、起業をするなら『何のため』にするのかを明確にすることが大切であるということであ

る。

三つ目は、自我を抑えることで利他が成長するということである。

4. ホームステイ

私はサンノゼの Ms. Edith Masacayan さんというフィリピン人の方の家に二週間滞在した。夜ご飯は主にフィリピン料理を頂いた。趣味は野球観戦で、野球の話をして盛り上がる事ができた。また、今回のプログラムを通して、異なる文化・環境での経験とグローバルな視野を身に付ける事ができたのがホームステイであった。今まで生きてきた環境や周囲の人との関係とはずいぶん違ったことや英語力不足によってホストファミリーに誤解を生ませたことにより、怒られたことなど思い通りにいかないことが多かった。しかし、ホストファミリーの生活リズムや人間性、環境、状況をいち早くつかんで臨機応変に対応する力や、順応する力を付けることができ、良い思い出となった。ホームステイで撮影したものを図1に示す。



図1 ホームステイ

5. 企業実習

5.1 研修先

私はサンノゼの東部にある「NorCal Aviation Services」で実習を行った。

NorCal Aviation Services は、主にセスナのような

小型飛行機のメンテナンスや修理，点検を行っている会社である。私も実際に，今回の実習では小型飛行機のメンテナンスや修理，点検を行った。

5.2 研修内容

今回の実習において，メンテナンスか整備，修理の三つのうち，何を依頼されたかを聞くことと「わかったふりをせずに，わからないことは聞く」という二つのことが重要であると教わった。1日目から10日目までの実習では，シリンダ内の気圧の点検やスパークプラグの掃除，座席の取り外し，エンジンの取り外し・取り付けなどの作業を行い，技術を学んだ。また，実際に飛行機に乗ってオイルプレッシャーのチェックを行ったことにより，修理や点検がどれだけ重要であるかを再確認することができた。研修全体を通して，自分から積極的に質問をして今自分に何ができるのかを聞いて行動することが重要であり，そうすることによってより高度な作業をさせて頂いた。また，実習先の送迎パーティーに参加できたことで，異なる文化や環境での経験を積むことができ，非常に有意義な時間となった。パーティーに参加させて頂いたときの写真を図2に示す。



図2 企業実習

6. まとめ

グローバルな人材とは「世界で活躍できる人材」であると考えていたが，グローバル人材育成プログラムを通して，私はグローバルな人材とは「あらゆる物事に対応できる人材」であると考えた。そのように考えた理由は企業実習やホームステイを通して，あらゆる物事に対して正面から向き合って解決するだけでなく，360度あらゆる角度から関わるのが大切であり，そうすることによって新たな解決策を見つけることができると考えた。

今回の目的に対しては，異なる文化と環境への対応力とグローバルな視野の重要性を学んだ。ホームステイでは，現地の生活の仕方や価値観に触れることで柔軟性と適応力が養われた。それに加えて，企業実習では異なる環境での経験を積むことで，グローバルな視野を持つことの重要性を感じた。これらの経験を通じて，あらゆる状況に対応し，グローバルな視点で物事を考える能力が大きく向上したと感じている。